

令和4年度親師会総会校長挨拶（令和4年5月30日）

新潟県立長岡高等学校長  
鈴木 勇二

保護者の皆様には、ご多用のところお集まりいただき、感謝申し上げます。昨年度から校長を務めております鈴木勇二でございます。よろしく願いいたします。

本日は、これから、親師会並びに後援会の総会、その後に学年別の進路講演会があります。長丁場になりますがよろしく願いします。

総会に先立ち、まず私から、何点か話をさせていただきます。

## 1 生徒の学校生活の様子

4月早々に新型コロナウイルスの感染により1週間程度の臨時休校がありました。1年生にとっては、いよいよこれから高校生活が始まるという時期だったこともありその影響が心配されましたが、リモート授業を行うなどの対策もあってか、なんとか、順調に高校生活を始められたようです。その後、2、3年生を中心とした地区大会への参加、中間考査、3年ぶりの避難訓練など、いわゆる通常に近い形で行事を行ってきました。それから、ただ今、県総体の真っ只中です。また、来週の体育祭の準備で、学校の中が慌ただしくなっています。

日々の勉強をこなしながら、学校行事や部活動に励んでいる生徒は、本当に忙しい日々を過ごしているのだと思います。若き日に、忙しく、充実した日々を送ることにより、規則正しくけじめをつけて時間を有効活用することや、湧き出してくるわがままや甘えを自分で抑制する力（自制心）などが身につき、後に、充実した人生を送ることに結びつくものと考えます。

## 2 コロナ対応

新型コロナウイルスの感染が高止まりを続ける中、保護者の皆様には、ご家庭での徹底した感染対策の実践、登校に対する慎重な対応に感謝いたします。本校では、先ほども触れましたが、新学期早々に6日間の臨時休業がありました。おかげさまでその後は休業等の対応をせずに済んでおります。学校でも、校内における感染拡大を防ぐため、基本的な感染症対策を徹底しています。残念ながら新型コロナに関連して学校を休まざるを得ない状況の生徒には、リモート授業などを通して学習保証を行っております。ご活用いただきたいと思います。

私としては、生徒には、通常実施してきた学校行事はすべて経験させたいと考えて

おります。全く同じとは行かないまでも、できる範囲での最大のものを計画していく予定です。

ご家庭においても、感染が落ち着くまでは、気を緩めることなく感染症対策の徹底を引き続きお願いします。

### 3 進路状況

先日県教育委員会から報告があったのですが、県内の大学等進学率は速報値で初めて50%を超える見込みとのこと。全国の結果はまだわかっておりません。

さて、本校の大学等進学率は85.7%。国公立大進学率57.1%でした。今年の特徴としては、医学部医学科合格が多かった事が挙げられます。現役生の医学科進学が15人でそのうち新潟大学医学部医学科が14人でした。浪人生を合わせた医学科進学は21人となっています。

大学受験は、生徒にとって大きなプレッシャーが掛かるものです。それを和らげるのに最も重要なのが、ご家庭の支えではないでしょうか。保護者である皆さんが落ち着いてお子さんを支えることで、生徒の気持ちが安定し、落ち着いて受験に向かうことができると思います。ご家庭でお子さんの話をよく聞くこと、進路選択に関してお子さんの知識が足りないところは保護者のできる範囲で教えてあげる、生徒の考えや気持ちを良く聞き尊重することも大切です。進路選択、学習方法等に関して不明なところがあればいつでも学校にご相談ください。

### 4 いじめ対策

次にいじめ防止対策です。いじめ防止対策基本法が制定されてから既に9年経ちます。本校でも、新潟県いじめ防止基本方針に従って、今皆さんのお手元にある、長岡高校「いじめ防止基本方針」と「いじめ防止基本方針を実践するための行動計画」を定め、いじめの防止、早期発見、解消に取り組んでいます。

昨年3月には「新潟県いじめ等の対策に関する条例」が制定されました。これに伴い、昨年の7月に本校の行動計画を改訂しました。

今のいじめの定義では、詳細についてはお配りした資料で確認していただければと思いますが、簡単に表現と、「行為を受けた生徒がその行為により苦痛を感じた」ならば、その行為は「いじめ」となります。行為を行った側が意図して行ったのではなくともいじめとなり得るわけです。以前の感覚からいうと、「こんなものまで」と思うようなものまでいじめになり得るわけで、実際にいじめの件で保護者に連絡をしたときに「うちの子がいじめをしたんですか」と大変驚かれ、いじめの定義から説明しご理解いただいたことがあります。このように被害者の立場に立って、広範なものを「いじめ」ととらえるのは、いじめを早期に発見し、重大な事態にならないように

するためです。本校でも、昨年度5件のいじめを認知しました。

本校では、普段の生徒の様子や担任等による生徒との面談、アンケート等により、些細なことでも人間関係で苦痛を感じている生徒を把握し、早めに対応すると共に、保護者とも連携して、重大な事態とならないよう努めています。どうぞ、ご家庭でお子さんの状況で気にかかることがありましたら、些細なことでも結構ですので学校にお知らせくださるようお願いいたします。

## 5 「エンパワーメントプログラム (Empowerment Program )」の紹介

5点目ですが、これは、特に2年生の保護者の皆様への紹介です。1年生の保護者にも同じ資料をお配りしました。

エンパワーメント・プログラムという取組を新潟明訓高校が中心となって行っています。これは、外国からの留学生と4日間、英語オンリーでディスカッションするというものです。本校は、学校運営方針にも「世界を舞台に指導的役割を果たすことのできる人材の育成」を挙げていることから、こういった企画には多くの生徒が参加することを期待しています。参加費が決して安くはないので、生徒は遠慮して言い出せないこともあるかもしれないと思い、保護者の皆さんに資料をお配りしました。ご協力いただければ幸いです。

## 6 おわりに

以上5点、駆け足でお話ししました。今日の内容についてはHPに載せたいと考えていますので、お時間があるときにご覧頂ければと思います。

それでは、総会のご審議、その後の、進学講演会と、本日は最後まで、どうぞよろしく願いいたします。私から以上です。